

## やくも少年少女 ゆめ議会



たけだ こうすけ  
武田 恒祐 議員(八雲高校2年)

### 高校生のためのスクールバスの運行について

汽車通学の生徒は、雪が降ると駅～学校間の登校が大変であり、風邪を引いて学業などに影響を及ぼします。自己管理の部分ですが、もう少し快適に学校生活を送れたらと思います。冬期間に限らず、台風など悪天候の際に学校行きのバスが出たら非常に助かります。みんなが快適に安全、安心な学校生活が送れるようよろしくお願ひします。

#### 答弁)教育長

平成27年度から、花浦や春日地区などの公共交通空白地域に居住する八雲高校の生徒について、12～3月までの冬期間は、小中学生が利用するスクールバスへの乗車を許可しています。また、八雲高校生徒に対しては、JRやバス料金に係る通学費助成や下宿生などに対する下宿代助成などの支援を行い、通学の負担を軽減できるよう取り組んでいます。八雲駅～高校までのスクールバスの運行については、高校周辺に居住する中学生も学校までは徒歩で通学しており、また、悪天候の際も臨時で運行していないことなども勘案し、難しいと考えています。

通学中の友だちとの会話や、途中の情景や出来事も将来の良い思い出になることもあるかと思いますので、駅から高校までの徒歩通学について、ご理解をいただきたいと思います。



さかもと あいり  
坂本 愛梨 議員(八雲高校2年)

### 商業施設・娯楽施設の増設について

町内には、中高生が遊べる場所が少ないと感じています。遊ぶ際には、友人とカラオケに行くか、総合体育館で運動するか、家で遊ぶかのどれかです。そこで、バッティングセンターなどの中高生でも気軽に遊べる場所の増設を提案します。それにより、中高生だけでなく、さまざまな年代の人がたくさん八雲町に足を運ぶようになり、まちが活気づくと考えます。

#### 答弁)町長

若い皆さんの気持ちは十分理解できますが、こうした施設は、ある程度の需要を見越して、民間企業が営利を目的として行うものと考えています。こうしたことから、残念ながら八雲町にはないものと考えられます。一方、まちの多くの方から「気軽に集える場所がほしい」との声も多く聞こえており、町ができるとして、今年の夏から本町商店街の一角に「ら・ふも」というコミュニティースペースを設置しました。「ら・ふも」の運営を担当しているのは、町外から来た「地域おこし協力隊」という若い方々です。この方たちが町内の皆さんと集えるためのさまざまな取り組みを行っており、八雲高校の皆さんとコラボレーションしたイベントも開催しています。八雲町には、都市部のような商業的な娯楽施設はないものの、若い皆さんのアイデアで、まちを活気づける気持ちも高まっていると感じています。ぜひ、八雲らしい楽しみの場や機会と一緒に作っていきましょう。



おおしま りょうま  
大嶋 亮馬 議員(八雲高校1年)

### 新幹線新八雲(仮称)駅の開業に向けて

新幹線の開業は、本州からの観光客が足を運ぶ大きなきっかけだと思いますので、通過駅で終わらせないため、まちの魅力を伝える工夫が必要だと考えています。現段階で八雲町が考えている構想があれば教えてください。また、地元で生活する私たちに何か力になれることがないでしょうか。

#### 答弁)町長

新幹線新駅の周辺整備は、今年度から町内の各産業団体の方などと計画策定検討会議を行っており、平成30年度末までに基本計画が取りまとまる予定です。現時点での町の案は、新駅の建設が予定される春日地区は、主要産業である酪農地帯であるため、周辺の牧歌的風景を壊さないよう、駅舎など交通関連施設は、駅前広場、駐車場、アクセス道路に限定し、周辺の農地を守っていく考えです。また、駅舎などの近くには、観光牧場、牛乳工場、農場レストラン、ワイン工場などの農業関連施設を配置し、現在の牧歌的風景にアクセントを加えることで、より良い農村景観を新幹線利用者に提供できるものと考えています。

新駅は、市街地から3キロほど離れた郊外に建設されます。新幹線利用者が市街地から離れていることによる不便を感じないように市街地などへの交通網の充実も必要と考えています。

また、新幹線が開業すると、通勤、通学圏が広がります。八雲は、自然豊かで病院などの施設もあり、たいへん住みよい町です。新幹線があると、八雲に住み、札幌などへの通勤や通学ができる距離となり、ベッドタウンとしても期待しています。皆さんの中にも高校卒業後は、町外に出られても八雲町のサポーターとして、八雲の知名度アップにご協力を願いしたいと思います。新幹線の開業は、交通手段が増えるということですが、八雲町に立ち寄る必然性がなければ通過駅で終わります。開業は、2030年度末と12年後であり、高校生の皆さんには、すでに就職し各職場の第一線で活躍されていると思います。皆さんも一緒に、新幹線利用者が、八雲に立ち寄るための必然性を考えていきたいと思います。町としても、今後、八雲周辺の持つ資源を最大限に生かし、新幹線利用者が八雲町に立ち寄るための必然性をまち全体で検討していく考えです。現在進行中の新幹線新駅周辺整備基本計画策定業務では、高校生や中学生との懇談会を実施し、高校生・中学生からの意見を計画に反映させようと考えています。今年度は、中学生との懇談会が12月19日、高校生との懇談会が12月20日を予定していますので、ぜひ、積極的なご協力をお願いします。